

平成23年度 国有林モニター会議 アンケート結果概要

対象者：国有林モニター会議参加者（21名）

モニター会議終了後、会議（現地見学）の概要や配付資料の内容に関するアンケートを実施したところ、以下のような回答が寄せられました。

設問Ⅰ 9月28日国有林モニター会議について

問1 間伐事業箇所見学の感想・意見

【主な意見】

- ・ハーベスタの実際の動きを見れたことがよかった
- ・少ない人手での作業を可能にする高機能に驚いた
- ・鹿児島産材が佐賀や大分の方まで運ばれると地産地消という気がしない
- ・ハーベスタの高機能はすごいが、需要が少ないため一機当たりの価格が高くなるのだろう
- ・普段眺めている山でもどのような施業がなされているのか全く知らなかったことを実感した。人力では林業は成り立たないことも考えさせられた
- ・ハーベスタの作業は民間人がやれることではないので、もっと身近な人力の伐採現場も見て学習したかった
- ・急峻な作業現場をみて製品単価への影響は大きいと感じた
- ・外国材と競争するには、より作業効率を高める必要がある
- ・機械化など様々な課題がある中で、最大のネックは道路であると感じ、道路整備の必要性を感じた
- ・バスで移動中横切った森林や竹林でも手入れの有無による差が目立っていた
- ・山に道路を削って積んでいくので、大雨で山崩れの原因にならないか心配

【総括】

初めて林業の作業現場を見学する方が多かったため、見慣れない機械の動きや効率性に驚く声が多く挙がりました。

機械化や路網整備について、多くの参加者からは競争力強化の面で共感する意見が挙げられた一方、従来の作業システムが失われることや、路網開設による土砂災害の誘発を危惧する声も挙がりました。

問2 合板工場見学のご感想・ご意見

【主なご意見】

- ・間伐材を有効利用することによる木材の生産性向上、コストダウン、外材輸入減による地元への経済効果、雇用への好影響等々、成果が著しい現状を聞いてうれしく感じた
- ・今後民有林を含めた形で、森林整備が更に展開していけば、合板だけではなく、社会に多くのチャンスを生じさせると感じた
- ・南九州をひとくくりとした地産地消に取り組んでいければと思った
- ・無垢材の方が（合板よりも）強いと思っていた
- ・国ももっと民間の経営や発想が必要と感じた
- ・国有林の杉を活用してもらって合板のコストを下げれば、代わりに民有林の杉が少し高く売れるのではないかと
- ・工場内の音のために、説明がほとんど聞き取れなかった。ハンドマイクを使用してもらいたい。
- ・もっとゆっくり見学したかった
- ・質問が全くできず、自制しなければならなかったことが残念

【総括】

利用間伐と同じく、初めて目にする作業工程や合板の品質に対する驚きの声が多数聞かれました。一方、価格や供給量など国産材の利用状況の厳しさを知り、国内産業の課題を改めて認識したという声も聞かれました。

モニター会議当日は、スケジュールが押してしまい、特に後半の見学時間が削られてしまったため、質問時間の確保など進行・運営に対する改善の指摘が多く出されました。

問3 今回のモニター会議全般のご感想・ご意見

【主なご意見】

- ・短い時間を有効に使いながらの運営だった
- ・一人一人の質問者に答えるなど、対応が丁寧だった
- ・局署担当者や請負事業者等と顔を合わせることで安心して同時にモニターとしての責任も強く感じた
- ・参加者だけでなく、技官や現場作業員と話をする時間がほしかった
- ・多くの資料をもらえたことがよかった
- ・雨天時に見学するとなると危険だったようにも感じる
- ・モニター同士での意見交換の時間がほしかった
- ・もう一回はこのような会を開いてほしい
- ・昼食時間を説明に利用するなど、工夫して時間を作ってほしかった

【総括】

かなりタイトなスケジュールとなってしまったため、スケジュール改善に対する意見が非常に多く寄せられました。内容としては、質問時間の確保、会議時間の延長（集合時間の繰り上げ、宿泊等）、移動中の時間の有効活用が多く出されました。一方、見学内容、会議参加者への配付資料、当日の対応については好印象が聞かれました。

現在の仕組みでは、こうした見学会は一部のモニターに対して1回実施されるだけですが、複数回開催などモニター全員が参加できる機会や、全員で意見を共有する場を求める意見が多く出されました。

問4 その他意見、わかりにくかった点

【主な意見】

- ・林業が抱える問題点(間伐がうまくなされないなど)を実感するためにも、問題点のある森林や作業現場も見学したかった。またそのような現場はどのように課題解決に立ち向かっているのかも知りたかった
- ・国有林のフィールドを見学し民有林と対比することで、民有林や地域の林業振興になると思う
- ・説明用資料に専門用語が載っている場合、解説してもらわないと見学してもわからない。例えば図面上の「除地」「切捨区域」
- ・林業機械などは資料で写真だけ見せられてもどのように動くのかよくわからない
- ・配付資料「現状と課題」で挙げられていた課題はわかったが、改善策の実現性を知りたい
- ・そもそも森林管理局や林野庁の管轄範囲がよくわからない
- ・森林事業が自然災害を誘発する要因となっていないのか説明が欲しかった
- ・専用重機を駆使した作業なので、特定業者との随契に陥りやすいのではないかと。土木業者の参入が報じられているが、双方にメリットがあると思うので、門を閉ざさないようにしてもらいたい
- ・旅費を一定額で切ってでもほとんどの人が参加の意思を持つと思う
- ・他のモニターとの交流の場がほしかった（本来は工場見学後、公民館で意見交換会を実施する予定だったが時間がないため中止となった）
- ・一般国民の林業に対する意識の低さを実感した

設問Ⅱ パンフレットについて

※他の国有林モニターからの回答と合わせて別紙に掲載しております。